

産学行政で実施されている職業訓練・研修等について

1 産業・労働界のニーズに対する職業訓練・研修等の充足／不足感

現 状

職業訓練・研修等は、行政、独立行政法人、経済団体、業種団体等により数多く実施されているが、訓練・研修等に設備／機器／材料が必要な技能系訓練／研修の実施へのハードルが高い傾向が見られる。

考え方

時間・資金・指導人材に不足感がある中小企業の現状を認識したうえで、訓練等の実施のハードルを克服した「技術・技能系訓練／研修」を強化すべきではないか。

議論していただきたいこと

現状の訓練・研修等で、①種別（例：経営／技術・技能）、②分野（例：製造業／サービス業）、③方法（例：行政実施／助成金／民間実施）などの観点から、十分ではないと思われる点はどのようなものか。

この不足する部分を補うための対応はどうすべきか。

2 職業訓練・研修等の情報の一元化及び見える化

現 状

- ・ 職業訓練等の情報は主催者がそれぞれ発信している。
- ・ 企業からこれらの情報を提供／紹介して欲しいという声がある。

考え方

受講者がオープンである訓練／研修／講習等の情報をポータルサイト等で一元化し、例えばSNS等の活用により、タイミングの良い情報提供、利用者の感想の収集などが行えると良いのではないか。

議論していただきたいこと

一元化する情報の範囲として、民間の研修等をどこまで網羅すべきか。

見える化の方法として、どのような方法（例：SNS／アプリ）が有効か。また、企業の経営者に、より確実に情報が届ける方法はないか。